

新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望

新型コロナウイルスワクチンの医療従事者に対する接種が開始され、来月からは高齢者を優先に全国民を対象として本格化する。

全国民へのワクチン接種は、我が国にとって新型コロナウイルス感染症を克服するための切り札となる大事業である。これを円滑に進めるためには、十分な人材、資材、流通調整、接種場所の確保等が必要である。また、実施に当たっては、万全な接種体制の整備、円滑なシステム運用、副反応情報の速やかな共有や医療機関の負荷軽減など、「国民の安全・安心を第一に」との基本姿勢のもと、迅速かつ丁寧に進めていかなければならない。

よって、国におかれては、下記の項目について確実に対処されるよう要望する。

記

1. 医療従事者等への優先接種について、ワクチンの数量及び接種に必要な資材を十分かつ迅速に確保・供給し、高齢者に対する優先接種への円滑な移行を図ること。
2. 全国民を対象とした接種は、前例のない大規模なものとなることから、ワクチンの数量を十分に確保するとともに、安全かつ円滑に接種が行われるよう各地方自治体と緊密に連携の上、接種体制、医療機関の負荷、システム運用等について検証し、改善につなげること。
3. 地方自治体の現場では、ワクチン接種の準備を整えつつあることから、国として今後のスケジュール等の目安を速やかに示すとともに、ワクチンの種類や数量、供給時期、先行接種で得られた副反応事例など安全性に係る知見等について、国と地方自治体の間で十分かつ確実な情報共有を行うこと。

令和3年3月8日

全国都道府県議会議長会会長	田中 英夫
全国市議会議長会会長	野尻 哲雄
全国町村議会議長会会長	松尾 文則